

2026 年度

大学院文学研究科博士課程後期 3 年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

筆記試験 美学・西洋美術史 専攻分野

出題意図

問 1 〈英語〉

問 2 〈イタリア語 I〉 および 〈イタリア語 II〉 〈ドイツ語 I〉 および 〈ドイツ語 II〉

大学学部生程度であれば読解可能な平易な英語、イタリア語、ドイツ語で書かれた、芸術をめぐる基本的論考からの抜粋である。博士課程後期三年の課程において美学・西洋美術史を研究するためには、外国語を正確な日本語に訳し、さらに独自の観点でテキストを分析する能力が求められる。

問 3

博士課程後期三年の課程では、先行研究の成果そのものを問い直し、独自の視点や興味に基づく新たな研究方法を模索、追求、そして確立していく必要がある。そのため、受験生のこれまで身につけた技法および知識がどれほどの成熟に達しているかを測るとともに、先行研究に対する批判的な視点の程度をも測るための問題である。